

埼玉県及び上尾メディックスバレーボールチームとの連携による 部活動地域移行モデル事業(令和4年度)

- (1)運営団体・実施主体 埼玉県 上尾市教育委員会 埼玉上尾メディックス
(2)対象 上尾市立原市中学校男子バレーボール部(部員数:全25名)
(3)会場 上尾市原市中学校体育館 他
(4)期間 令和5年1月～3月の週休日(全9回)
(5)費用 一人1,000円(全9回合計)傷害保険費用を含む。
*不足分は埼玉上尾メディックスが負担する。
(6)指導者 石原 昭久 氏(埼玉上尾メディックス スカウト)



○成果と●課題

学校・教員

- 専門的な技術やコーチングが体感でき指導する際の課題を発見することができた。
- 負担が軽減された
- 実際に地域クラブ活動となった場合はどのように顧問は関わればいいのか。
- 個人情報をチームとどこまで共有すればいいのか。

生徒・保護者

- 自分の技術が向上した。
- コーチングが分かりやすく、細かく指導していただいた。
- 練習中での気付きが多く、楽しく活動できた。
- 専門的な指導を受けたことでバレーボールに対する子供のモチベーションが上がった。

上尾メディックス

- 持続可能な活動とするため保険費用を徴収した。
- 地域貢献ができた。
- ジュニアチームとのつながりが生まれる。
- 教育の一環としての指導と専門性に特化した指導との相違をどうすればよいのか。
- 学校とあらかじめ指導方針の整合性を高めることが重要である。

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業について

昨年度の実証事業の成果と課題

今年度の実証事業に向けたヒアリング(団体・自治体・学校等)

休日部活動の地域移行のポイント

- 市町村・市町村教育委員会と保護者や生徒を含めた学校の理解促進
- 地域の受け皿となる団体等との連携
- 持続可能な活動とするため受益者負担が必要

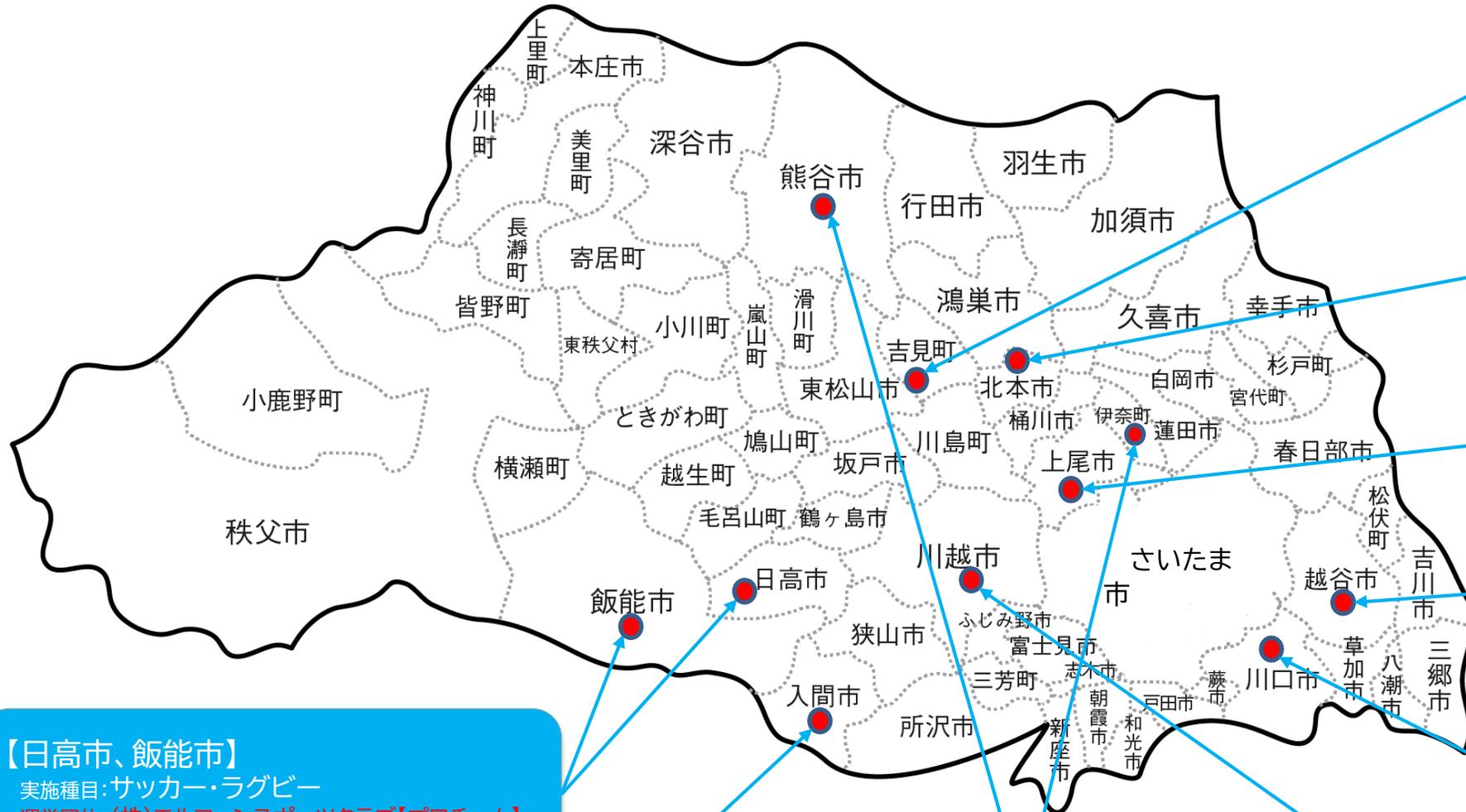


今年度の実証事業のポイント

- ◆ 県が地域の受け皿となる団体と、市町村・市町村教育委員会、学校の役割分担を整理
- ◆ 生徒、保護者に対する説明会を実施するなどきめ細かく支援し、円滑な連携を促進
- ◆ 受益者負担を必須とし、持続可能な地域スポーツクラブ活動を模索

他の地域の参考となる実証事業を行い、地域スポーツクラブ活動の体制整備を推進する

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 採択事業一覧



【吉見町】
実施種目: バスケ、サッカー、陸上
運営団体: NPO法人武蔵丘スポーツクラブ
【総合型地域スポーツクラブ】
実施主体: 武蔵丘短期大学

【北本市、鴻巣市、桶川市】
実施種目: バドミントン
運営団体: (株)サイオー【指定管理者】
実施主体: 北本市バドミントン協会

【上尾市】
実施種目: バレーボール
運営団体: 埼玉上尾メディックス【プロチーム】

【越谷市】
実施種目: バスケットボール
運営団体: 越谷アルファーズ【プロチーム】

【川口市】
実施種目: 軟式野球
運営団体: STAND FOR BASEBALL 川口
実施主体: 川口クラブ【地域スポーツ団体】

【川越市】
実施種目: サッカー
運営団体: JTB川越支店
実施主体: COEDO KAWAGOE F.C

【日高市、飯能市】
実施種目: サッカー・ラグビー
運営団体: (株)エルフェンススポーツクラブ【プロチーム】
連携団体: (NPO)ARUKAS KUMAGAYA【トップチーム】

【入間市】
実施種目: バレーボール
運営団体: 入間スポーツクラブ【地域スポーツ団体】

【全県】(熊谷市、伊奈町など)
実施種目: ラグビー
運営団体: (NPO)ワイルドナイツスポーツプロモーション
【プロチーム】